



## 全熱交換型第1種セントラル換気装置

# 取扱説明書

# お客様用

## 型式 AVH-95

このたびは、aire 全熱交換型第1種セントラル換気装置 AVH-95 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用に際してこの取扱説明書をよくお読みになり、安全にお使いください。

- ・この取り扱い説明書は、お使いになる方がいつでも見られる場所に、必ず保管しておいてください。
- ・保証書は、お買い上げ日・販売店名・保証内容などを確認し、大切に保管しておいてください。

### ■もくじ

- 1、ご使用になる前に
- 2、各部の名称
- 3、使用方法
- 4、日常のお手入れ・注意事項
- 5、故障・異常の見分け方と処置方法
- 6、保証書
- 7、仕様

## 1、ご使用になる前に

aire 全熱交換型第1種セントラル換気システムを、より安全に末永く快適にご使用していただくための正しい使用方法、お手入れの方法をご説明したものです。お手入れが不十分であったり、間違った使い方をされますと、製品の寿命を縮めるばかりではなく、事故の原因ともなりますので、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」を一読くださいますようお願い申し上げます。

### ■特に注意していただきたいこと

- この取扱説明書には、安全に正しくご使用いただくために守っていただきたい事項が警告、注意と区分され表示されています。表示内容をよくご理解いただき、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- 製品に関する異常が発見された場合には、速やかに弊社までご連絡ください。
- 製品に張り付けてある取り扱い説明、注意書きシールは、はがさないでご使用ください。

●改正建築基準法において必要とされる換気量を満たす 24 時間換気対応品ですので、下記の場合以外運転を停止しないでください。(一時停止後は運転を再開する)

- ・吹雪や台風などのような雪や風、雨の多いとき
- ・霧の多いとき
- ・清掃・点検時

#### ■使用上の注意

●2003 年に建築基準法改正により 24 時間換気 (0.5 回/h) を義務付けられました。この商品はゆっくと室内空気を入替え 2 時間に 1 回新鮮な空気を入れ替える装置ですので、冬季に加湿器運転や大量な洗濯物を干してしまうと、窓等に結露が発生することがあります。その場合は本体の異常ではなく、一時的に局所換気を運転させるか窓を開ける等して下さい。

●本製品は、冬季に屋外の冷たい空気を取り入れます。そのため外気温が低い場合には製品周囲の水蒸気が結露し、製品に水滴が付いたり滴下する場合がありますが故障ではありません。本体下面やフィルターケースの水滴は拭き取ってください。本体下には洗濯物や物などを置かないようにしてください。

●本製品の外気浄化フィルターは質量法による捕集率が 76%です。このため一部の粒子や虫等が通過する場合があります。このような場合は、サイクロン式給気フード(別売品)を設置するか、PM2.5 用フィルター(別売品)を設けることを推奨します。

●フィルターは弊社純正フィルターを必ずお使いください。

(熱交換素子の目詰まりなどにより換気量が確保できないことがあります)

#### ■お願い

●フィルターは定期的にお手入れをしてください。


- ・フィルターが目詰まりすると、結露や風量低下の原因となります。

●室内環境を維持するため、下記の場合は運転を一時停止してください。

- ・吹雪や台風などのような雪や風、雨の多いとき
- ・霧の多いとき
- ・清掃・点検時

●霧などの高湿度空気を吸い込むと、本体から結露水が滴下する場合があります。

運転を停止するか、運転モードの切替をしてください。

 <b>警告</b>	<b>取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 交流 100V 以外では使用しないでください。</li><li>● フィルター以外は取り外さないでください。感電・故障の原因になります。</li><li>● 配線を引張ったり無理をかけないでください。感電・故障の原因になります。</li><li>● 取付ビスを外したり分解しないでください。感電・故障の原因になります。</li><li>● 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。</li><li>● 本装置のフィルター蓋には、強力なネオジウム磁石を使用しています。心臓ペースメーカー等体内埋込型医療用電子機器を装着している方は、フィルター交換作業は行わないでください</li></ul>	



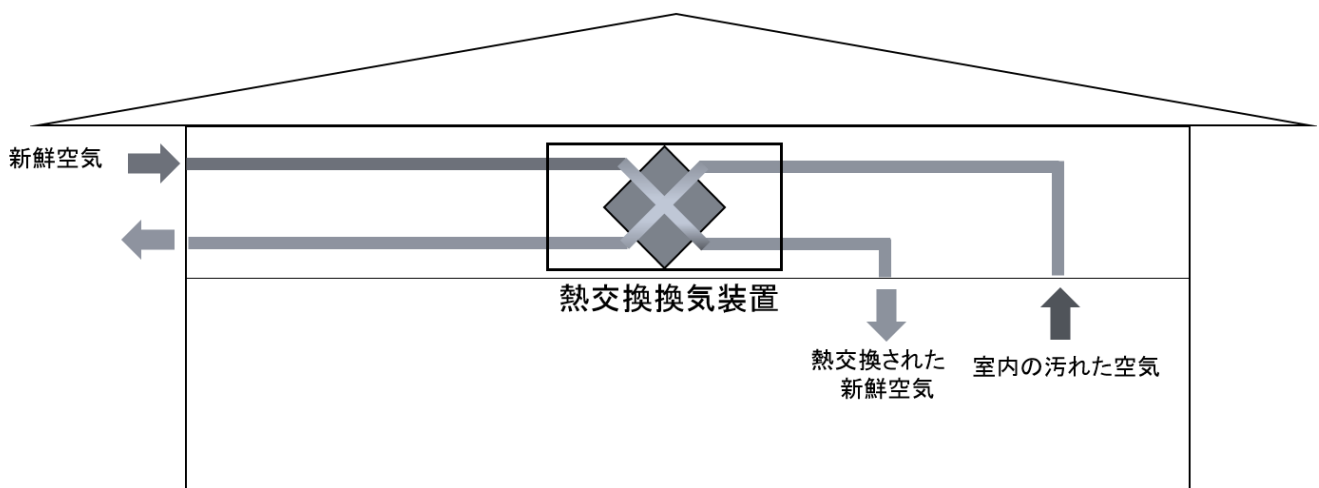
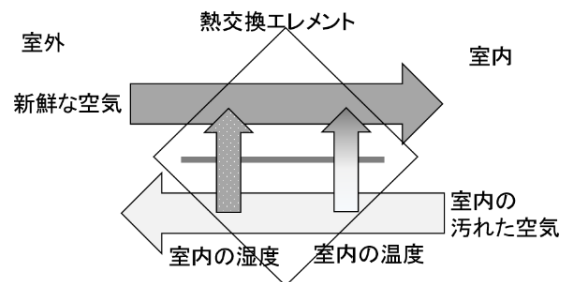
## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

- フィルター清掃の際は、必ず保護衣(軍手・作業衣等)を着用し、電源を切り運転が停止していることを確認の上、行ってください。
- フィルター清掃時、目や口などにゴミ・ホコリが入らないよう注意して行ってください。
- フィルター取付の際には指をはさまない様、注意してください。又、本体の角部でケガをしない様、注意してください。
- フィルターは定期的に清掃してください。フィルターが詰まると、換気不足や故障の原因になります。
- フィルターは必ず取り付けてご使用ください。故障の原因になります。
- 本体に荷重をかけたり、吊金具を緩めたりしないでください。本体の脱落によるケガや建物の破損及び故障の原因になります。
- 本体接続のダクトには触れないでください。ケガや破損・故障の原因になります。
- フィルター蓋を開閉する際には結露水滴下することがありますので注意してください。本体異常ではありません。外気温が低い場合や雨水の侵入がある場合には、内部に溜まった結露水滴下する場合がありますので、定期的に確認してタオル等で拭き取ってください。

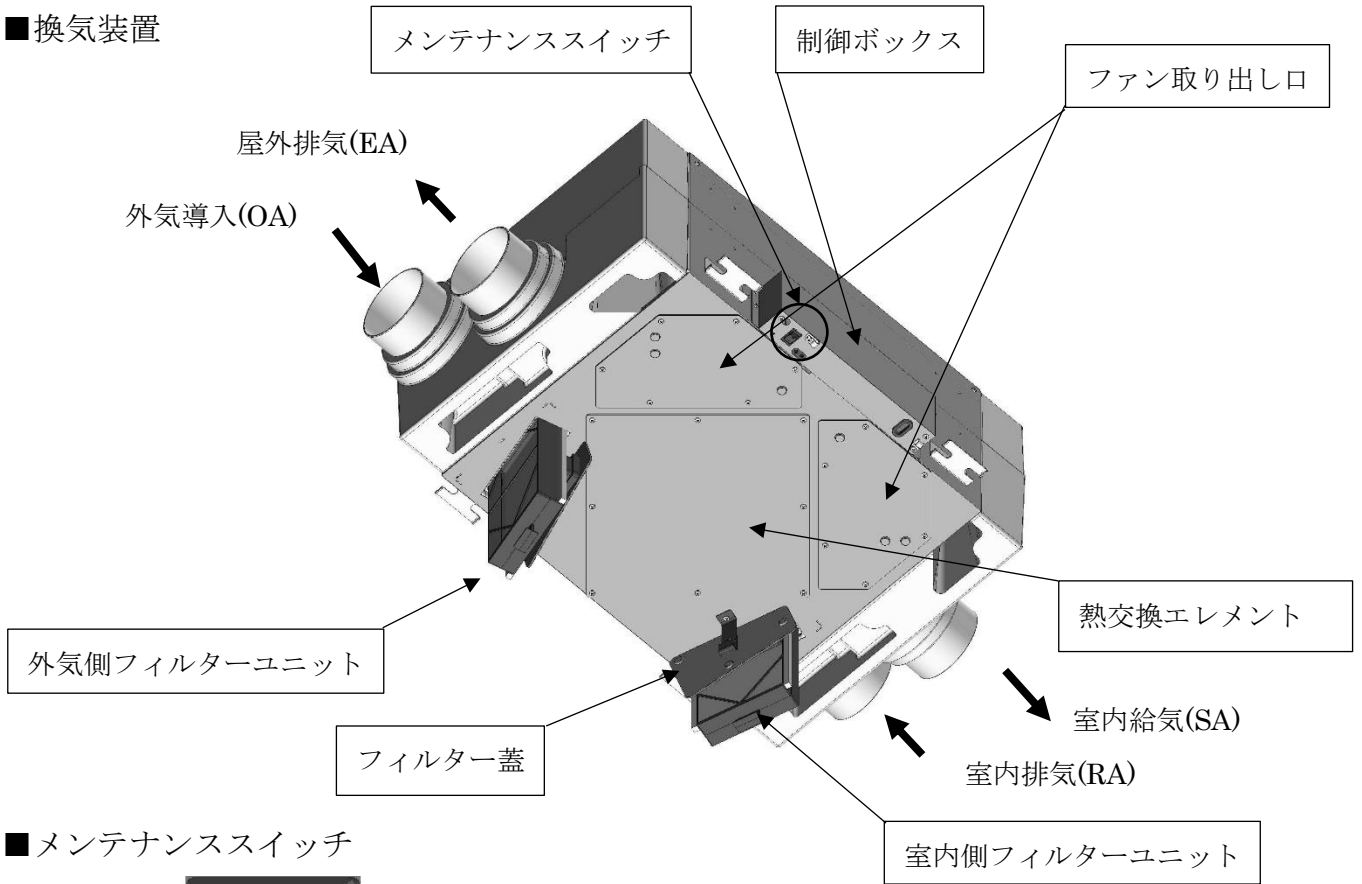
### ■全熱交換換気とは

室内の汚れた空気と室外の新鮮な空気を入れ替えます。その時、室内の湿度と室内の温度を新鮮空気に戻し、できるだけ室内の温度、湿度を変えないように、エコな換気ができます。

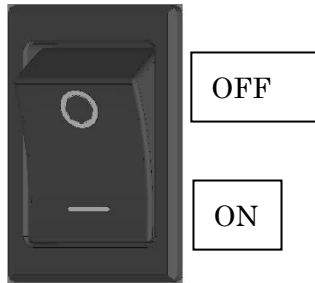


## 2、各部の名称

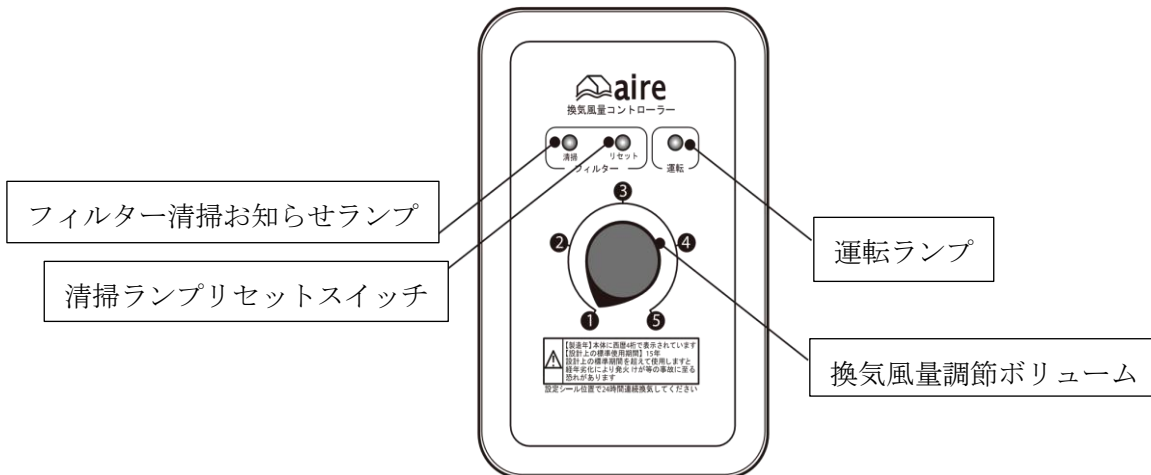
### ■換気装置



### ■メンテナンススイッチ



### ■風量コントローラ



## 3、使用方法

### ■運転操作

#### 「運転確認」

- 給気グリルより空気が出ているか、又は排気グリルより空気が吸い込まれているか確認してください。

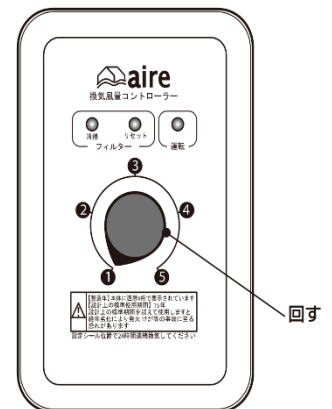
**⚠ 注意** 各グリルより空気の流れが確認できない場合は、「故障・異常の見分け方と処理方法」にしたがって処理してください。

#### 「換気風量切替」

- 換気風量調整ボリュームを回して風量の切替ができます。「①～⑤」の運転の切替が可能です。

**⚠ 注意** 建築基準法上、換気回数が決められていますので、工事店様が初回設定した箇所(青色マーク)に固定して使用してください。

- 一時的に設定風量以下で運転した場合は、必ず「設定風量」に戻して使用してください。(換気風量不足により、汚染空気が停滞する恐れがあります。)



#### 「フィルター清掃サイン」

- 連続運転時間が約3ヵ月になると、清掃ランプが点灯します。点灯したら「日常のお手入れ」に従って、各部のフィルターの清掃を実施してください。清掃後はリセットスイッチを押してください。

#### 「メンテナンススイッチ」

— = 「入」

○ = 「切」

**⚠ 注意** 24 時間運転が基本となりますので、メンテナンススイッチは、メンテナンスの時以外は切らないでください。(換気量不足により、結露の発生や汚染空気が停滞する恐れがあります。)

#### 「感温リードスイッチ」(寒冷地オプション)

外気温がマイナス 5℃(±4℃)以下に低下するとエレメント氷結を防止するために、外気導入量を減らすセーブ運転を行います。外気温が 0℃(±4℃)で通常運転に戻ります。寒冷地(H28 年省エネルギー基準 1, 2 地域)以外には設置していません。

## 4、日常のお手入れ

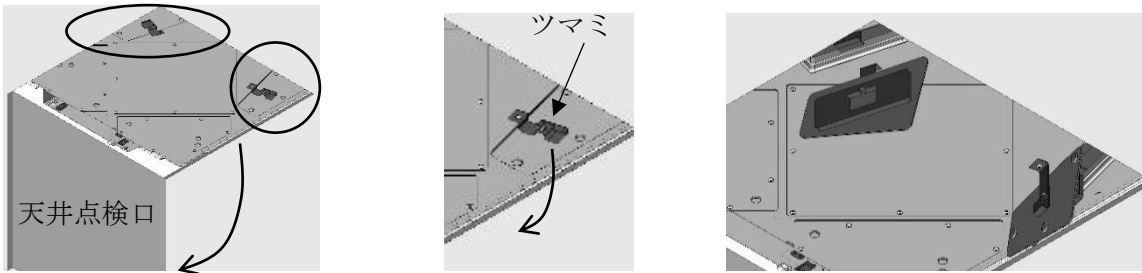
### ■フィルターの清掃（清掃ランプが点灯したら実施してください。）

#### お願い

日常の点検・手入れをする時は、次のことを必ず守ってください。

- ・お手入れの際は、必ず保護衣（軍手・作業衣等）を着用してください。

#### 1、フィルターを本体から取り出します。



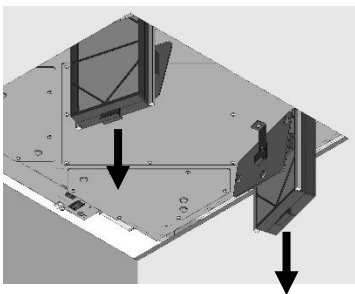
（本体が設置してある場所に点検口があります。まず、この点検口をあけてください）

- ・本体底面のフィルター蓋のツマミを引張り、蓋を開きます。（外気側、室内側の2箇所あります）



#### 警告

- ・フィルター蓋には強力なネオジウム磁石を使用しています。心臓ペースメーカー等体内埋込型医療用電子機器を装着している方は、フィルター交換作業は行わないでください。
- ・フィルター蓋の角などでケガをしないように注意してください。



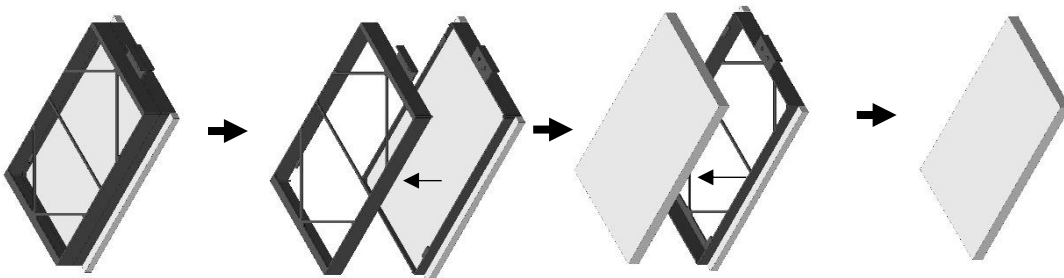
- ・フィルターケースのツマミを持って引き出します。



#### 注意

- △ ゴミ・ホコリ・虫・使用環境により結露水が落ちることがありますのでご注意ください。結露水が発生した場合は、フィルターケースをタオルなどで拭き取ってください。

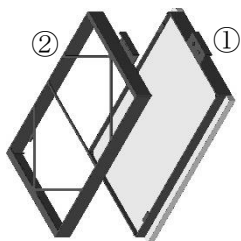
#### 2、フィルターを外します



- ・フィルタースに溜まったホコリ、虫などを掃除機等で除去します。
- ・フィルターケースを二つに分割し、中のフィルターを取り出します。
- ・取り外したフィルターは掃除機等でホコリを除去、又は水洗い、もしくは中性洗剤にて汚れを落としてください。（注意 オプションのPM2.5対応フィルターは水洗いできません）

### 3、フィルターを元に戻します

・フィルター洗浄後よく乾かし、2の逆の手順でフィルターの向きを間違えないようにフィルターケースに装着する。



・標準フィルターの場合

①のケースにフィルターを装着します。

・PM2.5 フィルター仕様の場合

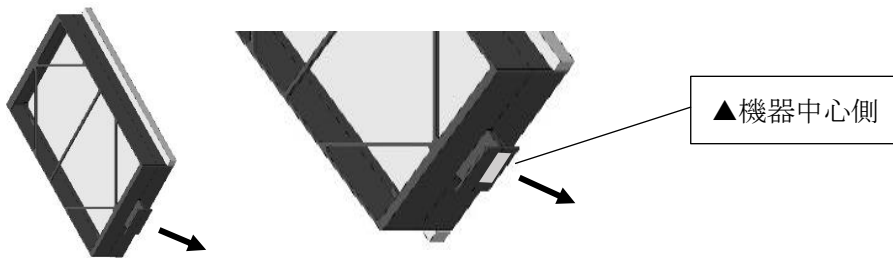
①のケースに PM2.5 フィルターを装着します。

②のケースに標準フィルターを装着します。

### 4、フィルターを装置に装着します

・フィルターの向きを間違えないように装置に挿入する。

(フィルターケースに貼ってあるラベルの方向通りに挿入する)



・フィルター蓋を確実に締める。(磁石が着くのを確認する)

**△ 注意** フィルター蓋を隙間のないように閉めてください。隙間があると装置内で結露する可能性があります。

フィルターが劣化した場合は、交換をおすすめします。

フィルターのご用命は弊社営業所または建築会社までご連絡ください。

品名	型番	備考
標準フィルター	AVH-95-1F	外気側、室内側共通
PM2.5 対応フィルター	AVH-95-PM2.5F	外気側 (別売品)

### 5、給排気グリルのフィルター清掃

・給排気グリルのフィルター清掃は、給排気グリルに付属の取扱説明書にしたがって行ってください。

### 6、装置の運転

・換気装置本体のメンテナンススイッチを ON にして、換気運転を始めます。

・風量コントローラのリセットスイッチを 1 回押し、フィルターサインランプ点灯をリセットします。

#### ■風量コントローラのお手入れ

・風量コントローラが汚れましたら、中性洗剤をしみこませた布でふきとってください。

・ベンジン、アルコール、シンナーなどの揮発性の溶剤は使用しないでください。



## 5、故障・異常の見分け方と処置

故障・異常が生じた場合は、下表を参考にして点検、処置してください。

処置をしても直らない場合、おわかりにならないことがありましたら、使用を中止して お買い求めになった建築業者、または弊社営業所にお問い合わせください。

現象	原因	処置方法
熱交換器が運転しない (運転ランプが点灯しない)	元電源 (ブレーカー) が切れている	元電源 (ブレーカー) を入れてください
	メンテナンススイッチが切れている	メンテナンススイッチをONにしてください
給気グリルから吹出さない	給気グリルフィルター目詰まり	フィルターを清掃してください
	OA フィルター目詰まり	フィルターを清掃してください
	給気グリルシャッターが閉まっている	※1 シャッターを開けてください
	屋外フードの目詰まり	屋外フードを清掃してください
	※2 感温リードスイッチ作動	外気温度上昇で自動的に運転します
排気グリルから吸込まない	排気グリルフィルター目詰まり	フィルターを清掃してください
	RA フィルター目詰まり	フィルターを清掃してください
	排気グリルシャッターが閉まっている	シャッターを開けてください

※1 シャッターの操作に関しては「給排気グリル取付・取扱説明書」を参照してください。

※2 外気温度低下によるエレメント氷結 (エレメント氷結により換気量が著しく低下します) を防止する為、寒冷地オプションとして設置しています。寒冷地以外には設置されていません。

**お願い** 温度・湿度の状況により本体表面に結露が結露する場合は布等で拭き取ってください。

### ■点検整備のおすすめ

数年間使用すると、下記のようなことが発生する可能性がありますので、専門家による点検整備をおすすめします。

- モーター寿命による異常音・異常振動の発生
- フィルター劣化によるほこりなどの侵入
- 熱交換エレメントの目詰まりによる風量の低下・交換効率の低下

以下は消耗品です。

- 外気用フィルター ●室内用フィルター ●モーター ●熱交換エレメント



## ■長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

[本体への表示]

- ・経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示します。



【製造年】 本体に西暦4ケタで表示してあります  
【設計上の標準使用期間】 15年  
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、  
経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれ  
があります。

[設計上の標準使用期間とは]

- ・運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(右表による)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- ・本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2 に基づいて右記の想定時間を用いて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。
- ・「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。
- ・「経年劣化に係わる注意喚起のための表示」を本体メンテナンス部に記載しています。  
点検口を開いて確認してください。

■標準仕様条件 JIS C 9921-2 による

環境条件	電圧	単相 100V	定格電圧による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	20℃	JIS C 9603
	湿度	65%	から引用
	設置条件	標準設置	工事説明書による
負荷条件		定格負荷	取扱説明書による
想定時間	1年間の 使用時間	24 時間換気 8760 時間/年	

## 6、保証書

保証書について

本システムには「保証書」が付いております。下記の点をご注意ください。

- 保証書はお買上げの建築業者、または弊社営業所から必ずお受け取りになり、記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。
- 保証書にお買上げ日、建築業者、または弊社営業所名などの所定事項の記入がないと有効となりません。もし、記入が無い場合は、すぐにお買上げの建築業者、または弊社営業所にお申し出ください。
- 保証期間は、お買上げ日から1年間といたします。
- 万一故障した場合には、保証規程内容により、保証期間内は無料修理いたします。
- この取扱説明、ラベル類による指示、注意事項などに反したご使用状態で万一事故や故障が発生した場合、弊社は責任を負いません。

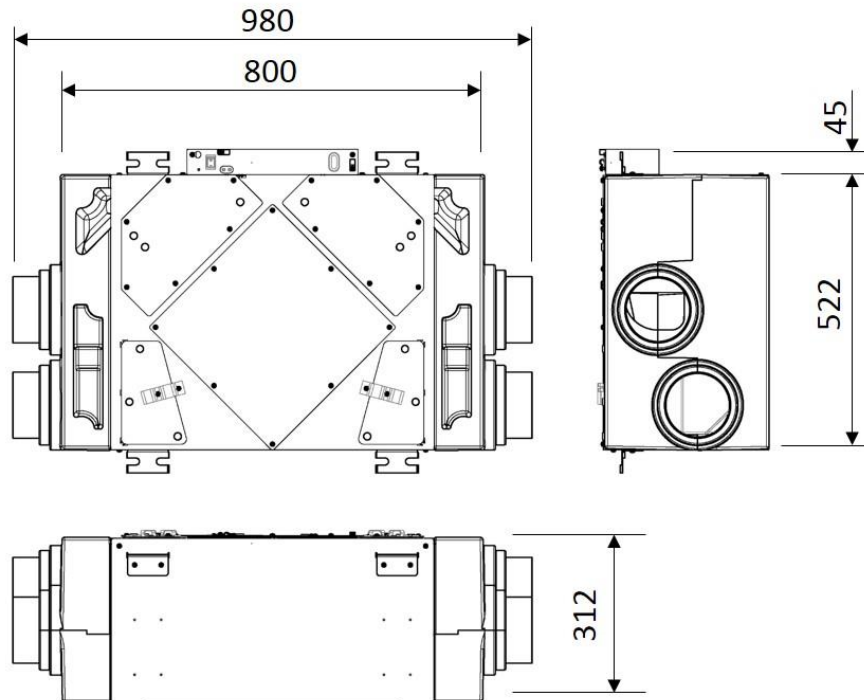
### ■補修用性能部品の最低保有期間

- 換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。  
その他、詳細は「保証書」をご覧ください。

## 7、仕様

形 式		AVH-95				
電 源		AC100V 50Hz/60Hz				
風 量 調 整 位 置		①	②	③	④	⑤
消費電力 (W) (0Pa時)		11	19	31	54	85
風 量 (m <sup>3</sup> /h) (0Pa時) 給気		97	129	175	223	268
風 量 (m <sup>3</sup> /h) (0Pa時) 排気		100	130	178	223	262
温度交換効率(%)	暖房時	95	92	89	87	85
	冷房時	84	81	78	76	75
エンタルピー交換効率(%)	暖房時	86	83	80	78	78
	冷房時	75	70	66	63	61
騒 音 (dB)		19	24	26	30	34
有効換気量率 (%)		95				
フィルター捕集効率 (%) 重量法		76				
本体寸法 (mm)		W981×D569×H312				
本体質量 (kg)		17				

### ■装置寸法



# 保証書

製品シリアル番号貼付

お買上げの日から下記保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が発生した場合は上記の保証規程より無料修理を致します。

品名	全熱交換型第1種換気装置 サベスト		
品番	AVH-95		
保証期間	お買上げ日 年 月 日より1年間		
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
	お電話		

## 保証規定

保証期間中に発生した故障等は無料修理いたします。

但し、保証期間内でも下記事項に該当する場合は無料修理の対象外といたします。

※不当な修理や改造による故障・損傷。

※火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性などの有害ガス、ほこり、落雷、異常気象、ねずみ・鳥・くも・昆虫類の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。

※お買上げ後の取付場所の移動・落下等による故障及び損傷。

※指定外の電源等の使用による故障及び損傷。

※本保証書にお買上げ年月日・お客様名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合。

※本保証書の提示がない場合。

(注) ○本保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管して下さい。

○修理または、ご不明な点は、お買上げの建築業者様及び弊社営業所までお問い合わせください

○保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。

○本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.



ケイ・マックインダストリー株式会社

〒060-0005 札幌市中央区北5条西5丁目2番地12  
住友生命ビル 6F

札幌営業所 TEL(011)218-3355



## ケイ・マックインダストリー株式会社

〒060-0005 札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 2 番地 12 住友生命ビル 6F

札幌営業所 TEL(011)218-3355

FAX(011)218-3356

E-mail / [aire-support@kmac-hokkaido.co.jp](mailto:aire-support@kmac-hokkaido.co.jp)

ホームページ / <http://www.kmac-aire.com>

### お問い合わせ先

商品等については下記にお問い合わせ下さい。

※上記欄に、工事店様(又は販売店様)の連絡先を記入ください。